

学校教育目標 : 文武両道 質実剛健
校 訓 : 自律 創造 協学
目指す学校像 : 生徒一人一人が輝く学校

校
報



かがやき

千葉市立幕張本郷中学校 令和5年度
第11号 令和6年 3月25日(月)

新たな生活を充実させるために！

学校長 廣瀬 雄高

久しぶりに、全学年が参加し、保護者・ご来賓のご臨席の元、卒業証書授与式が終わりました。式のフィナーレを飾る全校合唱では、卒業生のリードのもと、すばらしい歌声が本校のアリーナー杯に響き渡りました。参列いただいた皆様も感動されたことでしょうか。多くの卒業生にとって、「思い出に残る最高の卒業式」になったことと思います。また、“3年生を送る会”では、在校生が趣向をこらして、笑いあり、感動あり心のこもった会を演出してくれました。人の社会は、送られる・送るは順番です。卒業生にとっては、今まで取り組んできたことの評価が、在校生からの感謝の形で表わされたのでしょうか。来年は、2年生にも、きっと現在の1年生を含めた在校生がもっとすばらしい「送る会」をしてくれると思います。

さて、2年生は3年生からバトンタッチされた昨年後半から、生徒会活動を始め、学校生活を円滑にするために各担当が工夫をして活動に取り組んでいます。これから、新年度に向け、一層の活発な活動を期待しています。

1年生は、進級にあたり、新たな級友とともに、これから先をどう過ごすか、今のうちから新年度の目標を掲げ、準備をしておきましょう。そして、始業式には、気持ちよく新年度を迎えられるようにしましょう。

昔から、「光陰矢のごとし」、「少年老いやすく学成り難し」といわれます。時間の経つのが早いこと、実力をつけるには時間がかかることを、例えている言葉です。中学校生活は、小学校の6年間は長かった分、そう感じる人が多いと思います。年齢を重ねるごとに時間の過ぎるのが早く感じられるようになります。挑戦してみたいことがあれば、まず第一歩を踏み出してみましょう。「中学校でやり残したことはないよ」と卒業式で言えるよう、一人一人が目標を決めて新年度を迎えてくれることを強く願っています。